

受理番号及び 受理年月日	所 管	件 名 及 び 要 旨	提 出 者
29 年－ 21 (29. 6. 5)	教 育	<p>いじめ・不登校・多様な児童生徒など、諸問題に対応する教職員配置の充実を求める意見書の提出について</p> <p>▶陳情理由 学校現場における課題が複雑化・困難化する中で子どもたちのゆたかな学びを実現するためには、教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが不可欠である。そのためには教職員定数改善などの施策が最重要課題となっている。(公財)連合総合生活開発研究所による教職員の働き方・労働時間に関する報告書では、7～8割の教員が一月の時間外労働が80時間(過労死ライン)となっていること、1割が既に精神疾患に罹患している可能性が極めて高いことなどが明らかにされた。</p> <p>いじめ・不登校・発達障がい・外国籍を持つ子など、学校をとりまく状況は複雑化、困難化しており、学校に求められる役割は拡大している。結果、実質的に子どもたちへの教員の対応が困難になってきている。明日の日本を担う子どもたちを育む学校現場において、教職員が人間らしい働き方ができるための長時間労働是正が必要である。そのための教職員定数改善は欠かせない。</p> <p>一人ひとりの子どもたちへのきめ細やかな対応や学びの質を高めるための教育環境整備や、子どもの学ぶ意欲・主体的な取り組みを引き出す教育の役割は重要であり、そのための条件整備が不可欠である。</p> <p>▶陳情趣旨 こうした観点から、2018 年度政府予算編成において上記事項が実現されるよう、子どもたちの教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進することについて、国の関係機関に対し、地方自治法第 99 条の規定に基づき意見書を提出すること。</p>	<p>鳥取県教職員組合 執行委員長 寺 谷 昭 人</p> <p>鳥取県高等学校教職員組合 執行委員長 吉 岡 悟 志</p>